わが家のニック

金巻とよじ

まちがいさがしの答え
①犬のしっぽ　②右端かごの中のイモ　③お母さんのスカート　④中央少女のソックス　⑤左の木の枝先の葉　⑥左の少年の帽子　⑦手前の木の枝

新潟日報 新潟南地区会

■NIC万　代　244-5490（井村　充）
■NIC上　所　285-1646（羽田野剛司）
■NIC駅　南　244-7613（渡辺　和彦）
■NIC とやの　244-3476（長谷川則之）
■NIC県庁前　283-1255（高橋　康一）
■NIC女　池　284-5549（伊藤　收）
■NIC愛　宕　283-1660（長浜　悦男）
■NIC曽野木　284-8439（風間　栄七）
■NIC新潟南　280-2141（田中　緑）

○○の秋、到来です。

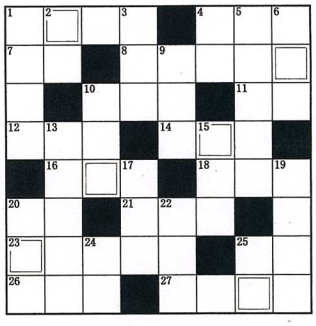
今日から10月がスタート！ 暮らしやすく、何をするにも楽しい季節になってきました。秋といえば、皆さんはスポーツ？それとも芸術？ 読書？ 私は毎年「読書の秋」を標榜しつつ、気が付けばいつも「食欲の秋」。皆さんもそれぞれの秋を大いに満喫してください。

紙面に関するお問い合わせ・広告のお申し込み
NIC駅南　TEL.244-7613（渡辺）

今月の懸賞 クロスワードパズル

puzzle

出題◆佐久みつる



ヒント

好きな皿を自分で取るだけの気軽さと、庶民的な値段設定が好評です。全国にチェーン店が広がり、毎日多くの客でにぎわっています。さて、今月のクロスワードを解いてください。二重枠のマスの中に、これと関係のある言葉が出てきます。何でしょう？

タテのカギ

1 ――は嫁に食わすな。
2 担いで運んだ昔のタクシー。
3 貴重で大切な宝。
4 ――にならない。信頼できぬ。
5 紙巻きタバコ。
6 桃太郎が鬼――をする。
9 探って調べる。月――機。
10 浮き沈み。
13 人や物などを指し示す言葉。
15 好きな具を巻いて、家庭で作れる――ずし。
17 やった！ 思わず――ポーズ。
19 生け簀の魚を料理して出す――料理店。
20 赤飯やあんなどに使う豆。
22 味の感覚。
24 恥じ入って――汗をかく。
25 ――が低い。謙虚な態度。

ヨコのカギ

1 赤みそで作ったみそ汁。
4 ――は――の風が吹く。
7 俳句に入れる季節を表す言葉。
8 貝柱が特に美味。
10 巡り合わせが悪い。
11 会計は店のこの場所で。
12 焼き魚などにかける徳島県特産の柑橘類。
14 砂に混ざった鉄鉱石の粒。
16 原因と結果。――関係。
18 江戸の町火消しのシンボル。
20 ――降って地固まる。
21 子どもがする木片遊び。
23 エッセイスト。
25 内助の――。妻の支え。
26 報道機関を集めて――会見。
27 日本列島の太平洋側を南から北へ流れる暖流。

応募のきまり

今月の懸賞「クロスワードパズル」の答えが分かった方は、官製ハガキに①クロスワードの答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥本紙に対するご意見・ご感想、⑦該当販売店名をお書き添えの上、〒950-0916 中央区米山5-9-14 NIC駅南内 TAKE A WALK編集室「クロスワードパズル」係までご応募ください。正解者の中から抽選で9名の方に**図書カード**を差上げます。応募締切は**10月10日**必着です。

先月号の答え

【ケイロウノヒ（敬老の日）】

ホ	ト	ケ		ツ	ナ	ヒ	キ	
シ	キ	ン	セ	キ		ト	イ	
ト		カ	イ		フ	ニ	ン	
リ	カ		コ	オ	ロ	ギ		
	シ	ユ	ウ	ト		リ	ア	
ウ	ラ	ミ		オ	カ		イ	
キ	モ		ノ	シ	ブ	ク	ロ	
メ	ジ	ヤ	ー		キ	ヒ	ン	

先月号の当選者
●太田代恵美子さん（中央区万代）
●石塚理絵さん（中央区上所）
●斉藤篤さん（中央区米山）
●茅原陽子さん（中央区新和）
●小芳圭子さん（中央区出来島）
●細川雪子さん（中央区小張木）
●山田厚子さん（中央区女池西）
●笠井フサエさん（江南区茅処・真野）
●渡辺アツ子さん（江南区割野）

本紙の懸賞企画に応募された方の個人情報は、当選者への賞品のお届けなどのため、お客さまへの新聞の配達などを担当する新潟日報取扱販売店へ連絡させていただき、当編集室を構成する販売店において適切に管理いたします。また、各販売店よりの各種ご連絡、新聞、出版物などのご案内などにも利用させていただきます。

7つのまちがいさがし

―― 焼きいも ――

●右と左の絵が7ヵ所違います。探してみてください。

作・絵◆伊藤正

いいまち いいひと

私たちが暮らす南地区ってどんなところ？
各地区で活躍されている方々にお話を聞きます。

第35回

真宗大谷派 金宝寺住職 朝倉 孝英さん

上所上は、県庁移設に伴い激変した状況とは裏腹に、住民の意識は比較的のんびりとしているように思います。私は、民生児童委員もしていますが、人口増に伴い、生活環境に対する課題もたくさん出てきたように思います。

当寺は越前（福井県）がルーツです。歴史は古く、石山合戦のころ、織田信長と本願寺がつばぜり合いをしていたころまでさかのぼります。私で二十代目です。この地に落ち着いたのは、新潟の新田開発の政策に乗じて門徒と共に越してきたと伝えられています。簡単な寺史は歴史博物館のアニメで紹介されています。

精神的糧をさまざまな行事に願いを込めています。お釈迦さまの誕生祝いの花祭りを催したり、夏には子ども対象の肝試しをしたりして親しんでいただいております。価値観が多様な今世、静かに自分を見つめ直す場を提供しています。

花祭りの様子

朝倉 孝英さんの "座右の銘"

人生は苦楽の連続なり

◆地域の自慢は？ 温厚・寛容
◆趣味・特技は？ R八（都山流大師範）バイクツーリング